

日本農業気象学会 2008 年度総会 議事要旨

日 時：2008 年 3 月 21 日（金）12:30～14:30

場 所：海峡メッセ下関 10 階国際会議場（山口県下関市豊前田町 3 丁目 3-1）

開 会

会長挨拶

議長に岡田益己会員(東北支部)を選出

1. 2007 年度活動報告

1.1 事務・事業報告(総会資料 2～7 ページ参照) ー報告どおり承認。

1.2 2007 年度一般会計決算報告(総会資料 8 ページ参照) ー報告どおり承認。

1.3 会計監査報告(総会資料 9 ページ参照) ー報告どおり承認。

2. 審議事項

2.1 2007 年度剰余金処分(総会資料 10 ページ参照) ー提案どおり承認。

2.2 事業年度および会計年度の変更およびそれに伴う会則改定(総会資料 10 ページ参照) ー提案どおり承認。この際、会員に対する事前の周知が不十分であるとし、この場での承認に反対する意見あり。

2.3 2008 年度事業計画(総会資料 11～13 ページ参照) ー提案どおり承認。

2.4 2008 年度一般会計予算(総会資料 14 ページ参照) ー提案どおり承認。この際、理事会経費を計上すべきとの意見、賞牌作り置きに対する質問あり。

議長を解任

3. 2007 年度各賞の授与式および記念講演

学術賞，奨励賞，永年功労会員表彰

学会賞（学術賞）

黒瀬 義孝 会員

学会賞（奨励賞）

飯泉仁之直 会員

永年功労会員

穴水孝道 会員

稲山光男 会員

及川武久 会員

櫻谷哲夫 会員

堀江武 会員

川島信彦 会員

米谷俊彦 会員

竹前彬 会員

学会賞受賞記念講演

黒瀬 義孝 会員

閉 会

日本農業気象学会 2008 年度 総会資料

日時：2008 年 3 月 21 日（金）12:30～14:30

場所：海峡メッセ下関 10 階国際会議場

山口県下関市豊前田町 3 丁目 3-1

日本農業気象学会 2008 年度総会 議事次第

開 会

会長挨拶

議長選出

1. 2007 年度活動報告

1.1 事務・事業報告（案）

1.1.1 役員等の交代	2
1.1.2 会員数の動向	2
1.1.3 研究会・講演会等の開催	2
1.1.4 学会誌等の出版	3
1.1.5 各種事業の推進	3
1.1.6 学会賞審査委員会，永年功労会員表彰審査委員会報告および投票結果報告	4
1.1.7 特別委員会等の設置および活動	4
1.1.8 関連学協会委員	5
1.1.9 編集委員会活動報告	5
1.1.10 支部および研究部会活動報告	6
1.2 2007 年度一般会計決算報告（案）	8
1.3 会計監査報告	9
—2007 年度事業・一般会計決算報告（案）の承認—		

2. 審議事項

2.1 2007 年度剰余金処分（案）	10
—2007 年度剰余金処分（案）の承認—		
2.2 事業年度および会計年度の変更およびそれに伴う会則改定（案）	10
—事業年度および会計年度の変更およびそれに伴う会則改定（案）の承認—		
2.3 2008 年度事業計画（案）	11
2.3.1 支部および部会活動予定	12
—2008 年度事業計画（案）の承認—		
2.4 2008 年度一般会計予算（案）	14
—2008 年度一般会計予算（案）の承認—		

議長解任

3. 2007 年度各賞の授与式および記念講演

学術賞，奨励賞，永年功労会員表彰

閉 会

1. 2007 年度活動報告

1.1 事務・事業報告

1.1.1 役員等の交代（敬称略）

- 1) 学会賞審査委員長に互選で真木太一委員が就任
- 2) 永年功労会員表彰審査委員長に互選で井上君夫委員が就任

1.1.2 会員数（2008 年 1 月 31 日現在）の動向

正会員	631 (-48)	(内外国 11)
学生会員	61 (-12)	(内外国 1)
購読会員	135 (-3)	(内外国 3)
賛助会員	36 (0)	
名誉会員	5 (0)	
海外特別会員	57 (-13)	
合計	925 (-76)	

() 内は、(2007 年 4 月 30 日時点と比較した) 増減数です。

1.1.3 研究会・講演会等の開催

- 1) 農業環境工学関連学会 2007 年合同大会およびシンポジウムの開催：生態工学会，農業機械学会，農業情報学会，農業施設学会と合同で，農業環境工学関連 5 学会 2007 年合同大会を開催，2007 年 9 月 11 日～14 日，東京農工大学農学部，シンポジウム「バイオマス利用による地球温暖化防止」，大会参加者 748 名，発表課題数 576 課題。
- 2) 日本農業気象学会 2008 年全国大会および農業気象国際シンポジウム (ISAM2008)：2008 年 3 月 20 日～3 月 22 日，山口県下関市の海峡メッセ下関で開催。
- 3) 2007 年度総会：2007 年 9 月 11 日，東京農工大学農学部で開催。
- 4) 2008 年度総会：2008 年 3 月 21 日，海峡メッセ下関で開催。
- 5) 評議員会：2006 年度評議員会を，2007 年 9 月 11 日，東京農工大学農学部で開催。2007 年度評議員会を，2008 年 3 月 20 日，海峡メッセ下関で開催。
- 6) 理事会：2007 年 4 月 4 日，7 月 6 日，12 月 14 日に東京大学農学部で，2007 年 9 月 12 日に東京農工大学農学部で，2008 年 3 月 20 日に海峡メッセ下関で開催。
- 7) 編集委員会：(別項「活動報告」の通り)
- 8) 学会賞審査委員会：(別項「審査結果報告」の通り)
- 9) 永年功労会員表彰審査委員会：(別項「審査委員会報告」の通り)
- 10) 支部 (別項「支部活動報告」の通り)
- 11) 研究部会 (別項「研究部会活動報告」の通り)
- 12) 他学会・団体とのシンポジウム・会議の共催・協賛・後援等 (開催順)
 - (1) 「第 53 回風に関するシンポジウム」(2007 年 6 月 21 日) を共催。
 - (2) 日本流体力学会による「日本流体力学会年会 2007」(2007 年 8 月 6 日～8 日) を協賛。
 - (3) 岩手大学主催の「盛岡高等農林学校関豊太郎教授記念シンポジウム 地球温暖化は「サムサノナツ」を

なくすのか」(2007年9月19日)を共催。

- (4) 農業農村工学会主催の「地球温暖化と農業資源に関するシンポジウム」(2007年10月9日)を後援。
- (5) 「第3回国際 O-CHA 学術会議」(2007年11月2~4日)を後援。
- (6) (社)日本照明委員会主催,第16回 JCIE セミナー「未来を拓く UV 科学・技術,産業の現状と課題」(2007年12月6日)を協賛。
- (7) 日本生物環境工学会植物工場部会主催,第18回 SHITA シンポジウム 「進化をつづける植物工場(2008年1月25日)を協賛。
- (8) 第54回風に関するシンポジウム(2008年2月23日,山口大学)を共催(幹事学会)。

1.1.4 学会誌等の出版

会誌「農業気象」:第63巻2号~第64巻1号

会誌「生物と気象」:第7巻 (http://wwwsoc.nii.ac.jp/agrmet/Climate_Biosphere.html)

1.1.5 各種事業の推進

1) 財政健全化,事務の簡素化などの推進

- (1) 財務対策として,学会誌刊行経費削減のため,「生物と気象」誌をホームページ化。また, J-STAGE 編集システムの活用に向けて準備。
 - (2) 「農業気象」の e-journal 化は, J-STAGE による公開で当面代替。その場合,印刷物よりも迅速な公開に向け準備。
 - (3) 総会の春季開催定例化に伴う会計決算処理および総会資料作成に要する時間的制約等を考慮し,現行の事業年度(4月~3月),会計年度(3月~2月)を1月~12月に変更する案を検討。
 - (4) シルバー会員制度の導入(会費5000円)。
 - (5) 会員の入会・異動・退会等の会員情報変更届に関する様式の変更(和文と英文様式に分離,会誌とホームページ版の統一,会誌送付の宛名裏版は用紙在庫の関係で当面変更無し)
 - (6) メーリングリスト(登録者割合,60%弱)による学会大会情報の送信等のサービス促進,支部会開催時にメーリングリスト未登録者に対する加入促進。
 - (7) 各種事務連絡等のホームページへの移行,ホームページによる各種広報,ホームページへの記事掲載の手続き窓口(ホームページ担当委員長)の一元化,および会員へのホームページ利用案内の送付。
- ##### 2) 会誌「農業気象」の発行(第63巻2号~第64巻1号)
- 3) 会誌「生物と気象」の発行(第7巻 電子化 http://wwwsoc.nii.ac.jp/agrmet/Climate_Biosphere.html)
 - 4) 日本農業気象学会賞の審査および授与
 - 5) 日本農業気象学会永年功労会員の審査および表彰
 - 6) 日本農学賞等の候補者の推薦
 - 7) 支部大会等の推進(別項「支部活動報告」の通り)
 - 8) 「研究部会」,「若手研究者の会」等の推進(別項「研究部会活動報告」の通り)
 - 9) 特別委員会の開催(別項「特別委員会等の設置と活動」の通り)
 - 10) 日本農学会,日本農業工学会,フェデレーションの活動を推進,日本学術会議第20期関連の活動に協力,学術会議ニュースの理事への配信
 - 11) 日本地球惑星科学連合の活動に協力
 - 12) 他学会との共催,協賛,後援などを推進

- 13) 受託研究の受け入れ
- 14) 各種賞について会員へ推薦依頼，各種公募研究の案内
- 15) 学会の将来の活動方向と学会名について検討
- 16) 日本農業工学会フェローに谷信輝会員，堀口郁夫顧問を推薦し，承認された。
- 17) 2008 年春季大会の企画と実施
- 18) Web 版測器ガイドブックの改訂版の作成
- 19) 学会賞（論文賞）の授賞対象者および学会賞各賞の副賞について討議
- 20) その他，本学会の目的達成のための各種事業の推進

1.1.6 学会賞審査委員会，永年功労会員表彰審査委員会報告および投票結果報告

1) 2007 年度日本農業気象学会賞の審査および授賞者の決定

2007 年 10 月 1 日締め切りで候補者を公募し，正会員および編集委員会から推薦があった候補者を学会賞審査委員会で審査。2008 年 1 月 9 日付で，真木学会賞審査委員長より審査結果が報告され，評議員，理事の投票により下記の会員が受賞することとなりました。

学術賞：黒瀬義孝 会員 「局地気象の把握に関する研究」

奨励賞：飯泉仁之直 会員 「温暖化後の冷夏と暑夏による日本の水稻生産への影響」

農業気象 63(1), 11-23 (2007)

2) 2007 年度永年功労会員の審査および表彰者の決定

各支部に推薦を依頼し，支部推薦候補者に総務理事推薦候補者を加えて永年功労会員表彰審査委員会で審査。2008 年 1 月 16 日付で，井上永年功労会員表彰審査委員長より審査結果が報告され，評議員，理事の投票により下記の会員を永年功労会員として表彰することが決まりました（括弧内は現在の所属支部）。

- 穴水孝道 会員 （東北支部）
- 稲山光男 会員 （関東支部）
- 及川武久 会員 （関東支部）
- 櫻谷哲夫 会員 （関東支部）
- 堀江 武 会員 （関東支部）
- 川島信彦 会員 （近畿支部）
- 米谷俊彦 会員 （中国四国支部）
- 竹前 彬 会員 （九州支部）

1.1.7 特別委員会等の設置および活動

1) 学会の在り方委員会（委員長：大政謙次理事）

幹事および委員の決定。Googleグループに農業気象情報交換掲示板 ([http:// groups.google.com/group/agrmet-ie](http://groups.google.com/group/agrmet-ie)) を設立し，会長，理事会，各委員会委員長，支部長からの依頼，委員会委員からの問題提起などについて意見交換。地球温暖化の影響評価と対策に関して農業気象への関心が高まる中での学会態勢作りに関して意見交換。

2) 企画講演委員会（委員長：沖 一雄理事）

2008 年全国大会の企画と実施，2008 年 11 月開催予定の日本農業気象学会シンポジウム・日本農業気象学会関東支部合同集会の企画。

3) 広報・企業担当委員会（委員長：青木正敏副会長）

気象・生物・環境計測器ガイドブックの HP 上での公表に向けて準備。センサエキスポジャパン 2007 で，

農業気象セミナー「気象・生物・環境に関わる新しい観測センサとその活用法」(2007年4月6日, 東京ビッグサイト)を開催。

4) ホームページ担当委員会(情報電子化検討委員会を解消して設置)(委員長: 渋谷俊夫理事)

学術誌・情報誌, 大会・研究会情報, 各種お知らせ等のホームページへの掲載。ホームページへの掲載手続きを整理し, 委員長が掲載記事受付窓口となり(財)農学会に掲載依頼をする方式を確立。会員へのHP活用を促すパンフレットを作成・配布(農業気象63(4))。

1.1.8 関連学協会委員

日本農学会(蔵田憲次会長, 富士原和宏理事), 日本農業工学会(真木太一顧問, 長野敏英会員, 佐瀬勘紀会員, 羽生広道会員), 農業環境工学系学会連盟(蔵田憲次会長, 青木正敏副会長), 日本地球惑星科学連合(蔵田憲次会長, 山川修治会員, 林陽生会員, 鳥谷均会員)

1.1.9 編集委員会活動報告

1) 編集委員会の開催

第1回 2007年9月12日 東京農工大学農学部

第2回 2007年9月13日 東京農工大学農学部

第3回 2007年12月4日 東京大学農学部

第4回 2008年3月4日 東京大学農学部

2) 「農業気象」, 「生物と気象」の発行

「農業気象」63巻2~4号, 64巻1号

研究論文8編(うち英文2編), 短報5編(うち英文4編), 総説0編(うち英文0編), 資料0編, その他(H20年2月現在)

「生物と気象」7巻(電子化して学会ホームページ上で公開)

講座, 解説, 研究トピックス0編, 研究部会報告2件, 書評, 新刊紹介4件, 国際会議報告1件, 支部報告2件, 学会賞受賞講演要旨0件(平成20年2月現在)

3) J-Stageで公開

「農業気象」を <http://www.jstage.jst.go.jp/browse/agrmet/-char/ja/> で公開

1.1.10 支部および研究部会活動報告

1) 2007 年度支部活動報告

*2007 年 4 月 30 日現在

支部名	研究会・講演会・出版物	支部会員(*)
北海道支部	<ul style="list-style-type: none"> 支部大会（研究発表 14 件，シンポジウム「十勝における土壌凍結の利活用技術」，総会）：2007 年 11 月 27 日～28 日，とかちプラザ（帯広市），参加者約 80 名 「北海道の農業気象」第 59 号 	正会員：52 学生会員：7 購読会員：9 合計：68
東北支部	<ul style="list-style-type: none"> 支部大会（研究発表 12 件，シンポジウム「地球温暖化と東北の農業」，総会）：2007 年 11 月 8 日～9 日，福島県農業総合センター（福島県郡山市），参加者 34 名 温度計測セミナー（東北農業研究センターと共催）：2008 年 3 月 13 日，東北農業研究センター（岩手県盛岡市） 「東北の農業気象」第 52 号 	正会員：54 学生会員：1 購読会員：10 合計：65
関東支部	<ul style="list-style-type: none"> 支部大会（研究発表 6 件，シンポジウム「ヒートアイランド現象と農業」，総会）：2007 年 12 月 7 日 東京都環境科学研究所（東京都江東区）参加者 68 名 「関東の農業気象」第 33 号 	正会員：272 学生会員：25 購読会員：40 合計：337
北陸支部	<ul style="list-style-type: none"> 支部大会（研究発表 6 件，講演会「気候変動下においても品質が優れる水稲早稲品種「てんたかく」について」，総会）：2007 年 11 月 28 日，富山県民会館（富山市），参加者 17 名 「日本農業気象学会北陸支部会誌」第 32 号 	正会員：23 学生会員：0 購読会員：6 合計：29
東海支部	<ul style="list-style-type: none"> 支部大会（研究発表，シンポジウム「農業気象学は夏期の猛暑と温暖化対策に貢献できるか？」，総会）：2007 年 12 月 8 日，名古屋工業大学，参加者 21 名 「東海支部会誌」第 66 号 	正会員：52 学生会員：5 購読会員：7 合計：64
近畿支部	<ul style="list-style-type: none"> 日本農業気象学会近畿支部大会（研究発表 9 件，シンポジウム「地球温暖化と日本の農業」）：2007 年 12 月 22 日，大阪府立大学学術交流会館，参加者 45 名 講演会（大気環境学会近畿支部生物影響部会と共催，「近畿の山地・森林をとりまく大気環境」）：2008 年 3 月 6 日，大阪大学付属図書館吹田分館 2007 年度日本農業気象学会近畿支部大会要旨 	正会員：76 学生会員：7 購読会員：18 合計：101
中国・四国支部	<ul style="list-style-type: none"> 支部大会（研究発表 36 件，総会）：2007 年 12 月 7～8 日，岡山大学環境理工学部（岡山市），参加者 70 名 「中国・四国の農業気象」第 20 号 	正会員：79 学生会員：7 購読会員：23 合計：109
九州支部	<ul style="list-style-type: none"> 支部大会（日本生物環境工学会九州支部と共催，研究発表 27 件，ポスター発表 10 件，特別講話 2 件，総会）：2007 年 11 月 30 日～12 月 1 日，鹿児島大学連合大学院会議室（鹿児島県鹿児島市），参加者 60 名 「九州の農業気象 II 輯 16 号（論文 2 題，講演要旨 37 課題，特別講話 2 題）」 	正会員：61 学生会員：20 購読会員：25 合計：106

2) 2007 年度研究部会活動報告

部会名・部会長	事務局・幹事	研究会・講演会・出版物
リモートセンシング・GIS 研究部会 部会長：大政謙次 設立：2000年12月	〒113-8657 東京都文京区弥生 1-1-1 東京大学大学院農学生命科学研究科 清水 庸 Tel: 03-5841-8101, Fax: 03-5841-8175 E-mail: ayosh@mail.ecc.u-tokyo.ac.jp	農業環境工学関連学会 2007 年合同大会にてオーガナイズドセッション「農業・環境分野におけるマルチスケールリモートセンシング」を開催，2007 年 9 月 12 日，東京農工大学，参加者 80 名 2008 年全国大会にてオーガナイズドセッション「農業・環境分野におけるマルチスケールリモートセンシング」を開催，2008 年 3 月 20 日，海峡メッセ下関
フラックス観測研究部会 部会長：大谷義一 設立：2004 年 4 月	〒020-0123 岩手県盛岡市下厨川字鍋屋敷 92-25 森林総合研究所東北支所森林環境研究グループ 安田幸生 Tel:019-648-3952, Fax: 019-641-6747 E-mail: yassan@ffpri.affrc.go.jp	農業環境工学関連学会 2007 年合同大会にてオーガナイズドセッション「フラックスのサイト間比較による陸域生態系の統合解析」を連携開催，2007 年 9 月 12 日，東京農工大学
生態系プロセス研究部会 部会長：小林和彦 設立：2003 年 7 月	〒305-8604 つくば市観音台 3-1-3 農業環境技術研究所大気環境研究領域 桑形恒男 Tel: 029-838-8202, Fax: 029-838-8211 Email: kuwa@affrc.go.jp	2008 年全国大会にてオーガナイズドセッション「東アジアの地表オゾン濃度上昇と農業生態系」を開催，2008 年 3 月 20 日，海峡メッセ下関
園芸工学研究部会 部会長：佐瀬勘紀 設立：2006 年 6 月	〒271-8510 千葉県松戸市松戸 648 千葉大学大学院園芸学研究科 石神靖弘・彦坂晶子 Tel: 047-308-8843, Fax: 047-308-8843 E-mail: ishigami@faculty.chiba-u.jp	農業環境工学関連学会 2007 年合同大会にてオーガナイズドセッション「高度施設園芸生産のための園芸工学的アプローチ」を開催，2007 年 9 月 12 日，東京農工大学，参加者約 80 名 2008 年全国大会にてオーガナイズドセッション「地球環境時代の高効率施設園芸のための園芸工学的アプローチ」を開催，2008 年 3 月 20 日，海峡メッセ下関
若手研究者の会	〒753-8515 山口市吉田 1677-1 山口大学農学部 高山 成 Tel: 083-933-5833, Fax: 083-933-5833 e-mail: tnaru@yamaguchi-u.ac.jp	農業環境工学関連学会2007年合同大会にて講演会「若手研究者は今後のキャリアに農業気象研究をどう生かすか？「次世代のリーダーへ 研究者，一個人としての道のり」」を開催，2007年9月12日，東京農工大学，参加者約30名 2008年全国大会にて講演会「競争的資金獲得のための申請書作成のヒント」を開催，2008年3月20日，海峡メッセ下関

1.2 2007年度一般会計決算報告（案）

2007年度一般会計決算（案）

1. 収入

科目	予算	決算額	備考
学会費	7,677,500	7,323,020	延べ人数(2008年1月基数)
正会員	5,329,500	4,909,500	524名(631名)
学生会員	280,000	209,000	55名(61名)
購読会員	1,048,000	1,154,520	144件(135件)
賛助会員	1,020,000	1,050,000	35件(36件)
売上金	1,646,000	2,552,795	
養賢堂(含む書店)	490,000	564,000	
掲載料・別刷り	1,117,000	1,962,295	
バックナンバー	39,000	26,500	
雑益費	418,000	1,212,574	
広告料	334,000	446,250	
利息	4,000	17,431	
その他	80,000	748,893	合同大会返金+石垣大会より寄附を含む
前年度繰越金	1,223,354	1,223,354	
合計	10,964,854	12,311,743	
単年度合計	9,741,500	11,088,389	

合同大会返金分
¥575,000-
石垣大会寄附
¥108,500-

2008年2月末日精算にて計算

※2007年度の単年度収入合計は、11,088,389円であったが、雑役費(その他の)合同大会分担返却分(575,000円)、石垣大会よりの寄付金(108,500円)を含むため、実質の単年度収入規模は1040万円程度である。

単年度収支

収入合計	11,088,389
支出合計	8,049,341
剰余金	3,039,048 ※※

※※剰余金は約300万円となった。これは、「生物と気象」を電子化することにより少ない経費で学会誌発行が行えるようにしたことが大きな要因である。その他、収入面で約70万円の一時的な増収(合同大会返金と石垣大会からの寄付金)があったこと、掲載料・別刷り料が超過ページ等の関係で多くなったこと、支出面で部会費の辞退、ホームページ作成外部委託費が少なくなったことによる。

3. 資産など

資産の部

現金	会計理事預り分	2,521
普通預金	三井住友	2,165,624
"	みずほ	4,970,075
"	関東つくば	577,798
振替貯金		2,748,181
定期預金	三井住友	2,172,109
資産の部計		12,636,308

負債の部

未払金	養賢堂へ	3,161,079
負債の部計		3,161,079

2. 支出

科目	予算	決算額	備考
学会誌発行業務	5,130,000	4,632,976	農業気象63(1)-(4)
印刷・製本・別刷り費	3,500,000	3,193,586	
発送費	310,000	310,010	
編集費	1,320,000	1,129,380	養賢堂編集費+2005,2006年度編集員旅費399,630
総大会費	549,000	500,000	
大会運営費	500,000	500,000	合同大会分担金
大会事務費	49,000	0	
学会賞費	410,600	383,600	学会賞、論文賞、受賞者懇親会費
永年功労賞費	60,000	8,265	
会計業務委託費	1,654,000	1,705,429	
会員業務	946,000	993,529	
会計業務委託費	441,000	441,000	
その他窓口業務	267,000	270,900	
理事会開催費	0	0	
庶務理事経費	58,000	58,000	
会計理事経費	85,000	90,221	銀行FAX代、立替を含む
支部補助費	353,500	340,000	
部会・研究・渡航補助費	250,000	50,000	
リモートセンシング・GIS研究部会	0	0	辞退
フラックス観測研究部会	50,000	0	決算:0
生態系プロセス研究部会	50,000	0	決算:0
園芸工学研究部会	0	0	辞退
若手研究者の会補助費	50,000	50,000	
渡航費補助	100,000	0	
関連団体分担金	144,000	130,850	
農学会費	94,000	80,850	
農業工学会費	50,000	50,000	
ホームページ作成外部委託	300,000	150,000	
単年度支出	8,994,100	8,049,341	
予備費	1,970,754	0	
合計	10,964,854	8,049,341	

財産の部

学会基金	2,300,000
事業準備金	2,912,827
本年度収支差異	4,262,402
財産の部計	9,475,229

負債・財産合計

12,636,308

1.3 会計監査報告

平成 20 年 3 月 13 日

会計監査報告書

日本農業気象学会
会長 蔵田 憲次殿

日本農業気象学会

会計監査 寺添 齊

長谷川利拡



日本農業気象学会 2007 年度（2007 年 3 月 1 日～2008 年 2 月 29 日）会計監査を行った結果を報告する。朝倉利員会計理事により示された会計書類について、質疑応答を交えながら調査したところ、帳簿や証拠書類は正確に記載され、誤りなく出納されていることを確認した。以上をここにご報告申し上げます。

会計監査にけるコメント

1. 支出削減の努力と、一時的な収入増加によって、単年度収支で約 300 万円の剰余金が発生したが、今後の会員数の動向の予測が難しいことから、これまでどおり単年度でバランスのとれた予算計画を立てられるよう留意されたい。
2. 会計年度の変更により、今後の会計業務に時間的余裕ができるものと考えられるが、変更時の一時的な措置で混乱が生じないように留意されたい。
3. 会費値上げに伴う会員の動向については、今後の経過を注視する必要がある。

2. 審議事項

2.1 2007年度剰余金処分（案）

2007年度剰余金処分(案)

- (1)2007年度剰余金は、4,262,402円となった。
- (2)2007年度の一般会計から学会基金へ1,700,000円を支出する。
- (3)2007年度の一般会計から事業準備金へ1,087,173円を支出する。
- (4)この結果、学会基金は4,000,000円、事業準備金は4,000,000円、一般会計繰越金1,475,229円となる

2007年度基本金会計

科目	予算	
学会基金	2,300,000	
事業準備金	2,912,827	
	5,212,827	

2008年度基本金会計

科目	予算	備考
学会基金	4,000,000	
事業準備金	4,000,000	
	8,000,000	

2.2 事業年度および会計年度の変更およびそれに伴う会則改正（案）

日本農業気象学会会則改正（案）

(1) 会則の下記条文について、二重取り消し線の箇所を削除し、下線部を追加する。

第6条（事業年度） この学会の事業年度は~~4月1日~~1月1日に始まり、~~翌年3月31日~~12月31日に終る。

第26条（会計年度） この学会の会計年度は毎年~~3月1日~~1月1日に始まり、~~翌年2月末日~~12月31日に終るものとする。

第27条（施行期日） この会則は~~平成19年9月11日~~2008年3月21日から施行する。

(2) 提案理由

2006年より学会単独で春季大会を開催することが定着してきたので、今後は春季大会期間中に総会を開催したい。この場合、一般会計の決算および会計監査を総会までに完了するためには、会計年度の終了時期を現在の2月末日よりも繰り上げる必要がある。このため、会計年度を1月1日から12月31日までとする。また、混乱を避けるため、事業年度は会計年度に一致させる。

なお、移行措置として、2008年度の事業年度は2008年4月1日から同年12月31日まで、会計年度は2008年3月1日から同年12月31日までとする。

2.3 2008年度事業計画（案）

- 1) 財政健全化，事務の簡素化などの推進
 - (1) 会員数維持のための方策の検討および実施
 - (2) 編集経費節減および会員管理業務等の事務局経費の節減のための方策の検討および実施
 - (3) 会員サービスとしてのメーリングリストを利用した事務連絡等の実施
 - (4) 理事による各種職務のグループ担当制の導入検討および実施
- 2) 全国大会およびシンポジウムの開催：日本農業気象学会シンポジウムの開催（関東支部2008年度例会との合同集会として開催），2008年11月6日～7日，文部科学省研究交流センター（つくば市）
（次回全国大会は2009年3月25日～27日にビッグアイおよび福島県農業総合センター（郡山市）にて開催）
- 3) 2009年度総会の開催：2009年3月25日午後（時間未定）にビッグアイ（郡山市）にて開催
- 4) 2008年度評議員会の開催：（事業年度変更に伴い2008年度には開催せず）
- 5) 2008年度理事会の開催：東京大学農学部，他
- 6) 会誌「農業気象」の発行（第64巻2号～第64巻4号）
- 7) 会誌「生物と気象」の発行，第8巻（電子化してHP上に掲載）
- 8) 日本農業気象学会賞の審査および授与
- 9) 日本農業気象学会永年功労会員の審査および表彰
- 10) 日本農学賞等の候補者の推薦
- 11) 支部大会等の推進（詳細別表）
- 12) 「研究部会」，「若手研究者の会」等の推進（詳細別表）
- 13) 特別委員会の開催
- 14) 日本農学会の活動を推進（平成20年度シンポジウム，2008年10月11日，東京大学弥生講堂，テーマ：農学領域における地球温暖化対策への取り組み）
- 15) 日本農業工学会の活動を推進
- 16) フェデレーションの活動を推進
- 17) 日本学術会議第20期関連の活動に協力
- 18) 日本地球惑星科学連合の活動に参加
- 19) 他学会との共催，協賛，後援などを推進（(社)日本能率協会主催の「アグロ・イノベーション2008」（2008年7月16～18日）を協賛，国際生気象学会（2008年9月22～26日）を協賛）
- 20) 受託研究の受け入れ
- 21) 国際会議出席者の推薦，国際研究交流の推進
- 22) 学会の将来的活動方向の検討
- 23) その他，本学会の目的達成のための各種事業の推進

2.3.1 支部および研究部会活動予定

1) 2008 年度支部活動予定 (案)

*2008 年 1 月 31 日現在

支部名	研究会・講演会・出版物	支部会員(*)
北海道支部	<ul style="list-style-type: none"> 支部大会 (研究発表, 講演会) : 日時・場所未定 「北海道の農業気象」第 60 号発行予定 	正会員 : 46 学生会員 : 4 購読会員 : 9 合計 : 59
東北支部	<ul style="list-style-type: none"> 支部大会 (研究発表, 総会) : 北海道支部と合同開催を予定 (日時・場所未定) 	正会員 : 48 学生会員 : 1 購読会員 : 10 合計 : 59
関東支部	<ul style="list-style-type: none"> 支部大会 (本部との共同開催, 研究発表, シンポジウム「農業気象の将来像を探る」, 総会) : 2008 年 11 月 6~7 日 文部科学省研究交流センター (茨城県つくば市) 「関東の農業気象」第 34 号発行予定 	正会員 : 256 学生会員 : 24 購読会員 : 37 合計 : 317
北陸支部	<ul style="list-style-type: none"> 支部大会 (研究発表, シンポジウム, 総会) : 2008 年 11 月 18 日, 会場未定 (新潟市) 「日本農業気象学会北陸支部会誌」第 33 号発行予定 	正会員 : 22 学生会員 : 0 購読会員 : 6 合計 : 28
東海支部	<ul style="list-style-type: none"> 夏季集会 (シンポジウム, 見学会) : 2008 年 9 月下旬, 岐阜県担当 支部大会 (研究発表, シンポジウム, 総会) : 2008 年 12 月初旬, 静岡県担当 「東海支部会誌」第 67 号発行予定 	正会員 : 44 学生会員 : 5 購読会員 : 7 合計 : 56
近畿支部	<ul style="list-style-type: none"> 支部大会, 2008 年 12 月 (予定), 奈良県内 (予定) 「日本農業気象学会近畿支部大会講演論文集」(仮称), 第 1 号発行予定 	正会員 : 74 学生会員 : 6 購読会員 : 17 合計 : 97
中国・四国支部	<ul style="list-style-type: none"> 支部大会 (研究発表, 総会) : 2008 年 12 月 (予定), 近畿中国四国農業研究センター (広島県福山市) 「中国・四国の農業気象」第 21 号発行予定 	正会員 : 76 学生会員 : 8 購読会員 : 22 合計 : 106
九州支部	<ul style="list-style-type: none"> 支部大会 (日本生物環境工学会九州支部と共催予定, 研究発表, 総会) : 2008 年 11 月 21~22 日, 九州大学農学部, シンポジウム等の内容は未定 「九州の農業気象 II 輯」17 号発行予定 	正会員 : 54 学生会員 : 12 購読会員 : 24 合計 : 90

2) 2008 年度研究部会活動予定 (案)

部会名・部会長	事務局・幹事	研究会・講演会・出版物
リモートセンシング・GIS 研究部会 部会長：大政謙次	〒113-8657 東京都文京区弥生 1-1-1 東京大学大学院農学生命科学研究科 清水 庸 Tel: 03-5841-8101, Fax: 03-5841-8175 E-mail: ayosh@mail.ecc.u-tokyo.ac.jp	部会主催のオーガナイズドセッションを企画 その他の活動については未定
生態系プロセス研究部会 部会長：小林和彦 設立：2003 年 7 月	〒305-8604 つくば市観音台 3-1-3 農業環境技術研究所大気環境研究領域 桑形恒男 Tel: 029-838-8202, Fax: 029-838-8211 Email: kuwa@affrc.go.jp	未定
園芸工学研究部会 部会長：佐瀬勘紀	〒271-8510 千葉県松戸市松戸 648 千葉大学大学院園芸学研究科 石神靖弘・彦坂晶子 Tel: 047-308-8843, Fax: 047-308-8843 E-mail: ishigami@faculty.chiba-u.jp	ISHS Symposium on Light in Horticulture (2009 年 11 月) の開催準備
若手研究者の会	〒305-8604 茨城県つくば市観音台 3-1-3 農業環境技術研究所大気環境研究領域 間野正美 Tel: 029-838-8239, Fax: 029-838-8211 e-mail: mmano@niaes.affrc.go.jp	メーリングリストを活用した情報交換や意見交換を中心に活動

2.4 2008年度一般会計予算(案)

2008年度一般会計予算(案)

1. 収入

科目	予算	備考
学会費	7,497,500	2008年1月末基数で計算
正会員	5,363,500	¥8,500*631名
学生会員	244,000	¥4,000*61名
購読会員	810,000	¥6,000*135件
賛助会員	1,080,000	¥30,000*36件
売上金	2,875,000	
養賢堂(含む書店)	550,000	2007年度実績564,000円
掲載料・別刷り	2,300,000	2007年度実績1,962,295円
バックナンバー	25,000	2007年度実績26,500円
雑益費	510,000	
広告料	450,000	2007年度実績446,250円
利息	10,000	2007年度実績17,431円
その他	50,000	複写使用料
前年度繰越金	1,475,229	
合計	12,357,729	
単年度合計	10,882,500	

1. 会計年度3月～12月、事業年度4月～12月であり、学会誌発行は会計年度で計算するため64(1)～(4)の発行となる。
2. 購読会費は、学会誌発行回数が3回(事業年度で計算するため64巻2号～4号)となるため特別に6,000円(2000円×3冊)とする。他の会員については、学会誌購読以外の特典があるため、現行通りとする。購読会費の特例は2008年度限りとし、次年度以降は従来通りとする。
3. ISAM2008論文は学会誌に順次掲載する。
4. 学会賞の賞牌は、佐藤忠良先生の事情により今年度限りの製作となるため、60万円分作り置きする。
5. 会員名簿は、個人情報管理の観点から学会誌に綴じ込むのではなく、名簿単独で発行する。

2. 支出

科目	予算	備考
学会誌発行業務	6,910,000	農業気象64(1)～(4)、ISAM2008論文含む
印刷・製本・別刷り費	5,500,000	2007年度実績3,193,586円
発送費	310,000	2007年度実績310,000円
編集費	1,100,000	編集委員会+養賢堂(2007年度実績729,750円)
総大会費	550,000	
大会運営費	500,000	
大会事務費	50,000	
学会賞費	797,340	学術賞1、奨励賞1、受賞者懇親会費、賞牌作り置き60万円
永年功労賞費	24,000	8件分
会計業務委託費	1,608,000	
会員業務	900,000	2007年度実績993,529円(単価減額780→650円)
会計業務委託費	441,000	2007年度実績441,000円
その他窓口業務	267,000	2007年度実績270,900円
理事会開催費	0	
庶務理事経費	58,000	
会計理事経費	80,000	
支部補助費	346,000	単価500円×692会員(正+学)
部会・研究・渡航補助費	150,000	
リモートセンシング・GIS研究部会	0	
生態系プロセス研究部会	0	辞退
園芸工学研究部会	0	辞退
若手研究者の会補助費	50,000	
渡航費補助	100,000	5万円×2名を想定
関連団体分担金	131,000	
農学会費	81,000	2007年度実績80,850円
農業工学会費	50,000	
ホームページ作成外部委託	150,000	2007年度実績150,000円
会員名簿	120,000	名簿単独で印刷
単年度支出	10,924,340	
予備費	1,433,389	予備費の内、学会費の遅滞分が80万円程度と想定。
合計	12,357,729	